

豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書

議員名 後藤 学

平成28年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
平成 ²⁹ 28年3月25日 (土)	都庁センタービル (東京都千代田区)	<p>地方議員フォーラム2017「議会改革 e-スタイル～議会から政策が LE回す～」</p> <p><研修内容> 21紙のとおり</p> <div data-bbox="938 1227 1252 1467" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>豊明市議事課 29.4.-3 分類 . . . 30.10.5.1 可・否・一部否・一時否 第249号受付</p> </div>

(注) 別紙添付も可能とします。
(注) 本報告書は5年間公開します。

地方議会議員フォーラム 2017 参加報告書

後 藤 学

1. 日時：2017年3月25日（土）13：00～17：00

2. 会場：都市センターホテル 6F 606

3. プログラム

基調講演・問題提起・事例紹介（5市議会）・パネル討論

4. 内容(要旨)

***基調講演**（早稲田大学名誉教授・マニフェスト研究所顧問 北川 正恭氏）

地方自治体は地方政府であり、自治立法権を持つ。地方分権改革で形式的要件は整ったが、実質的な改革はこれから。執行権者に対し政策形成・条例制定で議会が圧倒的力を持つよう改革を。

***問題提起**（山梨学院大学法学部教授 大学院研究科長 江藤 俊昭氏）

議会基本条例の制定など議会改革の第一段階から、改革を住民の福祉向上にどうつなげるか、形式から内容への段階に入った。議会からの政策サイクルとして決算予算・委員会・連続性・総合計画・評価等々をどう考えるか。

***事例紹介**

・可児市議会

議会基本条例に基づき、改選で議会が途切れないよう引き継ぎ事項を定める。また、議長マニフェストにより任期中の議会運営方針を毎年定める。視察報告会、高校生議会、ママさん議会等で市民との連携を推進。

・大津市議会

政策検討会議で会派を超えた議員間討議を行い「いじめ防止条例」「災害等対策基本条例」等々を議会で制定。三大学とのパートナーシップ協定でその知見を活かす。ミッションロードマップ策定で任期中の議会版実行計画を示す。

・会津若松市議会

議会基本条例で、市民参加を基軸にした政策形成を行うことを確認し、様々な課題に取り組む。給水施設未整備地区への早期解消に関する決議、除雪に関する調査研究活動等々のほか、政策討論会各分科会から政策提言があった。

・那覇市議会

議会改革推進会議の下に議会改革・広報参画・政策検討の三部会を置き、政務活動費の明朗化やIT化、議員提案による「めんそーれ那覇市観光振興条例」の制定、市民報告会の意見・要望を踏まえた市長への要望・提言、などに取り組む。

・西脇市議会

従来の一定例会完結型（ブツギリ）の議会運営をみなおし、予算・決算や政策を委員会調査、視察、議会報告会、政策討論会、議決ごとの執行部への申し入れ

(→回答)などを組み合わせたサイクルとして構築。予算編成や条例制定につなげる。

*パネル討論

- ・議会としての意思決定をどのようにしているか。
議論は30分と制限している。反対者が最後まで残ることもある。(西脇市)
準備をしっかりとやり、採決で決める(会津若松市)
情報の共有・公開でクリアーしている。(可児市)
- ・議会改革でハレーションが起きた。住民には議会と当局がなぜもめるのかという疑問がある。(芽室町)
- ・政策サイクルの連続性が大切。条例つくったらその成果もきちんと評価すること。
- ・議員には任期があるが、それを超える通任期性をもつこと。
- ・委員会で縦割りにになってしまう傾向に注意すべき。
- ・予算→決算ではなく決算→予算の視点で考えること。
- ・改革についての新聞報道で住民の認識変わった。マスコミの活用も大切。(可児市)
- ・議会が活性化し、予算の修正など毎回のように出るようになった(大津市)
- ・改革を継続することで、口コミで市民意識が徐々に変わっている。(会津若松市)
- ・やる気ない議員にも役割与え、持ち上げ、成果が上がれば一緒に評価してもらう。
- ・議会外のことも含め小さな成功体験の積み重ねが大切。

5. 感想

自治体は地方の政府であり、その決定権をもつ議会の役割は極めて大きい。しかしながら、半数近い市民は選挙にもいかず、選ばれた議員も大半は地元のことしか関心がなかったり執行部に無条件で追随するだけだったり、議会改革は市民と議員の余程の意識改革なくしては進まないと感じさせられてきた。

そうしたなかで、全国の先進各地での実践報告は、この豊明でも地道な努力を続ければ変わるかもしれない、という希望を与えてくれるものだった。

豊明の改革は緒に就いたばかりであるが、パネル討論でもあったように、できることから小さな成功体験を積み重ねることが大切と感じた。

いつか、市政の重要問題で議会が合意形成を図り、自ら政策決定できるような議会にしたいものである。